

**製品名: グリコフォリン A (CD235a) (11C9) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe11514**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IF-P
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.23mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:100-1:200,IF-P 1:100-1:200
分子量	16kDa

**抗原情報**

遺伝子名	GYPA
別名	CD235a; Glycophorin A; GPA; GPErik; GpMIII; GYPA; HGpMIII; HGpMiV; HGpMiX; HGpMiXI; MN sialoglycoprotein; MNS; PAS2;
遺伝子 ID	2993.0
SwissProt ID	P02724
免疫原	ヒトグリコフォリン A の合成ペプチド

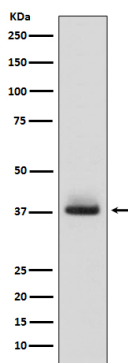
## 背景

グリコホリン A は、赤血球の主要な内在膜タンパク質です。赤血球膜の外側にある N 末端グリコシル化セグメントには、MN 血液型受容体があります。SLC4A1 の機能に重要であると思われ、SLC4A1 の高活性に必要です。グリコホリン A は、赤血球の主要な内在膜タンパク質です。赤血球膜の外側にある N 末端グリコシル化セグメントには、MN 血液型受容体があります。SLC4A1 の機能に重要であると思われ、SLC4A1 の高活性に必要です。SLC4A1 の細胞膜への移行に関与している可能性があります。インフルエンザウイルスの受容体です。熱帯熱マラリア原虫赤血球結合抗原 175 (EBA-175) の受容体です。EBA-175 の結合は O-結合型グリカンのシアリン酸残基に依存する。A 型肝炎ウイルス (HAV) の受容体であると考えられる。

## 研究分野

造血細胞系統;

## 画像データ



ヒト胎児肝臓溶解物中のグリコフォリン A (CD235a) 発現のウェスタン ブロット分析。